

製品名: SR-2C ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18249**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	55kDa

抗原情報

遺伝子名	HTR2C
別名	HTR2C; HTR1C; 5-hydroxytryptamine receptor 2C; 5-HT-2C; 5-HT2C; 5-HTR2C; 5-hydroxytryptamine receptor 1C; 5-HT-1C; 5-HT1C; Serotonin receptor 2C
遺伝子 ID	3358.0
SwissProt ID	P28335
免疫原	抗血清はヒト 5-HT-2C 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 161-210

背景

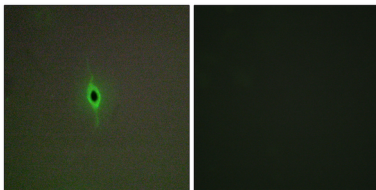
この遺伝子は、7回膜貫通型 G タンパク質共役受容体をコードしています。コードされているタンパク質は、神経伝達物質セロトニ

ンを介したシグナル伝達に応答します。この遺伝子の mRNA は、ゲノムにコードされているアデノシン残基がイノシンに変換される複数の RNA 編集イベントを受けます。RNA 編集は、細胞内第 2 ループの構造を変化させ、G タンパク質との相互作用能力が低下した代替タンパク質形態を生成すると予測されています。うつ病を患う自殺者において、この遺伝子の RNA 編集における異常が検出されています。さらに、この遺伝子のプロモーター領域および 5'非コード領域およびコード領域における自然発生的な変異は、精神疾患および行動障害と統計的に有意な関連を示す可能性があります。選択的スプライシングは、複数の異なる転写産物バリエーションをもたらします。[RefSeq 提供、2015 年 1 月],ドメイン: PDZ ドメイン結合モチーフは MPDZ との相互作用に関与する。機能: これは、神経伝達物質、ホルモン、マイトジェンとして機能する生体ホルモンである 5-ヒドロキシトリプタミン (セロトニン) の複数の受容体の 1 つである。この受容体は、ホスファチジルイノシトール-カルシウムセカンドメッセンジャーシステムを活性化する G タンパク質と結合することで作用する。多型: 位置 23 は多型性を示す。血縁関係のない白人における頻度は、Cys で 0.87、Ser で 0.13 である。PTM: N-グリコシル化されている。RNA 編集: 部分的に編集されている。RNA 編集により、トランスフェクトされた細胞株においてホスホリパーゼ C シグナル伝達カスケードと相互作用する能力が異なる受容体アイソフォームが生成され、この RNA 処理イベントが中枢神経系におけるセロトニン神経伝達の調節に寄与する可能性があることが示唆されています。類似性:G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属します。サブユニット:MPDZ と相互作用します。、

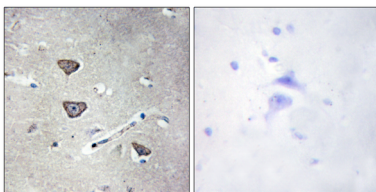
研究分野

カルシウム;神経活性リガンド-受容体相互作用;ギャップ結合;

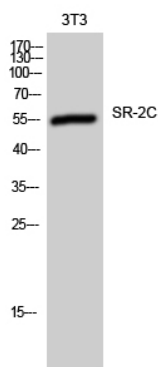
画像データ



5-HT-2C 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。



5-HT-2C 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



SR-2C ポリクローナル抗体を用いた 3T3 細胞のウェスタンブロット解析